

編集後記

「あなたの生年を干支で言うと？」と訊かれて迷わず答えられる私は物知り…ではなく単なる丙午生まれである。江戸時代からの迷信にも負けず堂々と女児を生み出してくれた両親には高校受験でちょっと感謝した程度だが、さて今年の出生率は更に落ち込むだろうか？コスパ・タイパを求める現在の親世代の考え方や如何に。この市医報も時代に即して皆様のお役に立てるよう頑張りたい。

（編集委員 關根 さおり）

2026年の干支は「丙午（ひのえうま）」。なんと私の干支のようです…

最終盤に急に勝てなくなり、あと一歩のところで1年でのJ2再々昇格を果たせなかったわれらの鹿児島ユナイテッドFC。今年こそは競走馬のようにJ3の舞台を一気に駆け抜けていってほしいものです。今年こそは！！

本年も応援よろしくお願ひ申し上げます。

（編集委員 今村 直人）

昨年の流行語大賞は高市首相の「働いて働いて働いて働いて働いてまいります」でした。働き方改革が叫ばれるこのご時世、バブル期のCMを彷彿とさせるフレーズに「えっ」と思う反面、実に頗もしく覚悟を感じました。就任後1ヶ月間、「会食」なしで寝る間も惜しんで勉強されるお姿に、同世代の定年を控える我が身には活を入れられた心境です。今年も頑張ろうっと。

（編集委員 森岡 康祐）

今年はスポーツイベントが盛り沢山で、2～3月にミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピックが、3月にワールドベースボールクラシックが、6月からはアメリカ主開催となるサッカーワールドカップ、7月には愛知・名古屋アジア競技大会が行われます。目が離せず一喜一憂する、日が続くと思いますが、「がんばれニッポン」で今年も楽しみながら、頑張っていきましょう。

（編集委員 角 純啓）

今年の干支は「丙午」。“丙”は火の性質を持ち、力強く行動的な陽のエネルギーを象徴するとされ、“午”はそのイメージから、走る・進む・成長するといった前向きな意味を持っています。今年はまさに“エネルギーッシュに前進する”年。何か新しいことを始めるには最適であり、自分にとっても“挑戦の年”にしたいと本気で考えています。

（編集委員 寺口 博幸）

僕がよく飲む干支の馬にちなんだカクテルは、アメリカ競馬の最高峰レース「ケンタッキーダービー」の公式ドリンクとして知られている「ミント・ジュレップ」。会場裏に豊富に生えていたミントを入れたバーボンソーダが好評だったのが発祥という説が大好きです。ダービー開催時期に因み、5月第1土曜日以降に飲むのが毎年の楽しみです。

（編集委員 島田 辰彦）

少し前から「サ活」が流行していますが、実際にやってみると、サウナでの発汗と冷水でスッキリし、忙しさの中でもリセットできます。さらに睡眠・食事・運動・水分摂取に気を配ると、体調は驚くほど整います。健康づくりは日々の小さな積み重ねであり、“体を整える”ことの大切さを改めて感じます。みなさまにとって健やかな一年となりますように。

（副編集委員長 ウェレット 朋代）

皆様におかれましては、つつがなく2026年（丙午）を迎えた事と存じます。丙午は「情熱的で強い意志を持ち激しさや変化を伴う」という意味があるそうです。医療を取り巻く環境の変化が速くなっています。鹿児島市医報は会員の皆様へ正確・迅速に情報提供できるよう編集委員全員で頑張ります。今年も何卒宜しくお願い申し上げます。

（編集委員長 帆北 修一）